

民商ニュース

2023年
7月17日

新津民主商工会 新潟市秋葉区岡田九四

TEL (0250) 231-1353
FAX (0250) 231-5544

第51回定期総会開かれる

新津民商のなかまを増やして

来春の50周年を迎えよう!

7月2日割烹小形で、新津民商第51回定期総会が開かれ44人が出席しました。

目黒会長は「新型コロナウイルスの影響で集まりが少なくなってきたが、今年はコロナ禍前のような形式で総会をすることができた。物価高も響き、商売がたいへんだが、民商の活動に参加してほしい、引き続きなかま増やしのなどで、皆さんの協力が重要です。」とあいさつ。

そのあと「活動方針、決算予算、監査、新役員の方針」の報告があり、すべての提案等が全会一致で可決されました。

【代議員の発言】

五泉東支部の渡辺さんは、壮年会青年部の交流について、「5年前、60歳以下の会員や後継者を対象に『壮年会』を立ち上げた。コロナウイルスの影響でしばらく休んでいたが、今年5月に壮年会を再開した。壮年会は、飲み会が好きななかまの集りという感じです。一杯飲みながら、同世代だから話せることや、商売の交流などをする会になっている。」

青年部も呼ぼうと計画しているが、案内を送るだけになっている。今後も壮年、青年交流会を開く予定で、対象の人に案内が届きますので、ぜひ参加してください。」と呼びかけました。

村松支部の斉藤さんは、なかまふやしについて、「私は、帳簿や申告のことがよくわからず、悩んでいたところ、知り合いの紹介で民商に入会した。自分もその後、同じように悩んでいた、何人かのなかまを紹介して、民商に入会してもらいました。この秋、インボイス制度が始まるうとしています。インボイスはもちろん反対ですが、今、インボイスで悩んでいる人がいると思います。そんな話を聞いたなら『民商に相談してみたら』と一声かけてください。なかまを増やして、来年、新津民商50周年を迎えよう。」と話しました。

【新津民商新役員】

- 「会長」目黒司（川東）
- 「副会長」小栗正一（南西北）、羽下力（村松）、樋口信行（村松）、「会計」小林良則（第1第2）、「事務局長」池田治（第1第2）



お願い 「事務所には電話予約をしてから来所を！」

突然の来所・相談には対応できないことがあります。また事務局員も不在になることがあります。予約者の相談を優先にしていますので、短い相談でも必ず事前に電話予約をしてから、来所していただきますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。